

みんないひと体験講座等申請書 (申込 ・ 変更) < 記入例 >

社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会会長 殿

次のとおり、申請いたします。

学校 ・ 団体名 **相模原市立ふれあい中学校**

代表者 (学校長) **相 模 太 郎** 印

※太枠線のみ記入。

学校・団体名	ふれあい (小・ <input checked="" type="checkbox"/> 中・高等) 学校	担当	あじさい <input checked="" type="checkbox"/> 先生 ・ PTA (男 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 女)
開催時間	平成〇〇年 〇月 〇日 (〇) 13:30~15:00 集合 (13:15) 解散 (15:30)		
住所	相模原市中央区富士見6-1-20		
電話	042 (704) 6275	FAX	042 (786) 6182
対象者	1年生165人+保護者 人	謝礼	<input checked="" type="checkbox"/> 有り ・ 無し
講座内容	1 肢体不自由者の理解25人 <input type="checkbox"/> 講話25人 <input type="checkbox"/> 車いす体験25人 <input type="checkbox"/> ハンディキャブ号体験 人 2 視覚障がい者の理解75人 <input type="checkbox"/> 講話75人 <input type="checkbox"/> 誘導体験25人 <input type="checkbox"/> 点字体験25人 <input type="checkbox"/> 録音体験25人 <input type="checkbox"/> パソコン音声ソフト体験 人 3 聴覚障がい者の理解40人 <input type="checkbox"/> コミュニケーションI 人 <input type="checkbox"/> コミュニケーションII 40人 <input type="checkbox"/> 講話のみ 人 4 高齢者の理解 <input type="checkbox"/> 講話 人 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座 人 <input type="checkbox"/> 高齢者疑似体験 人 5 その他 <input type="checkbox"/> パソコンボランティア体験 (緑区のみ) 人 <input type="checkbox"/> 災害時活動体験 人 <input type="checkbox"/> 盲ろう体験 人 <input type="checkbox"/> 福祉・介護のしごと出張セミナー 人 <input type="checkbox"/> その他 ()		
貸出のみ	<input type="checkbox"/> 車いす 台 ※20台まで貸出可 <input type="checkbox"/> 高齢者疑似体験セット セット ※20セットまで貸出可 <input type="checkbox"/> アイマスク 枚		

講座コース	対応内容	講師名	連絡先

講師選定結果送信日 月 日

課長	係長	担当	相談員	合議

※ 別紙の書式で開催要領を作成し、遅くとも**開催日の一ヶ月前**までに申請書と共にご提出ください。
 ※ ご不明な点等は、市社会福祉協議会 市民活動係 中央ボランティアセンターまでお問い合わせください。
 電話：042 (786) 6181 FAX：042 (786) 6182

Eメール：svc@sagamiharashishakyo.or.jp

みんないいひと体験講座開催要領

<記載例>

団体名（学校名）

相模原市立ふれあい中学校

担当者（教諭名）

あじさい花子

1 目的・学習のねらい

本校では、1年次において総合的な学習の時間や道徳の時間等で、福祉教育に取り組むことにより、今後生きていくために必要な人との接し方や他者への共感、協調性、課題追究の能力を育みたいと考えている。同時に、地域社会における自身の存在意義を確認し、他者との共存を図っていく能力、「生きる力」のみではない「共に生きる力」の形成のための学習を行うきっかけづくりとして、障がい当事者の体験談を踏まえながら、体験学習を行う。

2 学習計画（現在までの流れ・今後の活動計画）

今回の体験学習を踏まえ、生徒の興味がある分野ごとに学習を深め、課題認識を行っていく。その後、課題解決のためにどのようなことを行えばよいのか、発表する場を設け、保護者などに見ていただく予定である。そのなかで、必要である部分については学校外部に発表を行う。

3 内容・会場・当日の流れ

- 13:00 講師集合・担当教諭との最終打ち合わせ（1階 ○○室）
- 13:15 はじめの会（全体会）：体育館
- 13:30 体験学習開始：各講座は、先ず講話を20～30分程度聞いた後に、体験学習に入る。（講話から体験へ10分程度の移動時間を含む）

□各講座の場所・人数・担当教員

講座	講話	体験	担当教員
肢体不自由者の理解	1階○○広場 (25人)	車いす体験(25人)：体育館周辺 ※雨天時は、体育館玄関付近及び屋根のあるスペースを使って実施	相模教諭
視覚障がい者の理解	体育館 (75人)	誘導体験(25人)：1-2教室 → 外	小栗教諭
		点字体験(25人)：1-3教室	中岡教諭
		録音体験(25人)：1-4教室	岩崎教諭
聴覚障がい者の理解 (コミュニケーションⅡ)	多目的室 (40人)	手話体験(20人)：	中川教諭
		要約筆記体験(20人)：	田島教諭

- 15:00 終わりの会（分会ごとに）
- 15:15 講師との反省会
- 15:40 解散

4 特記事項（要望・質問事項など）

生徒が興味を持つきっかけづくり、障がいのある方達の日常生活での困り感とそのことをサポートする市民の活動について、お話をお願いしたい。
事前学習用の教材・ビデオ等がありましたら紹介して欲しい。

※ 依頼書と共に**開催日の一ヶ月前**までにご提出ください。

※ 不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

市社会福祉協議会 市民活動係 中央ボランティアセンター

(TEL: 042-786-6181、Eメール: svc@sagamiharashishakyo.or.jp)